

学校教育目標と経営方針

1 学校教育目標

病気や障害を乗り越え、未来に向かい希望をもって心豊かにたくましく生きる児童生徒を育てる。

- 【児童生徒像】
 - ・進んで学び，最後までやり抜く児童生徒
 - ・思いやりの心を持ち，仲よくする児童生徒
 - ・健やかで，明るく生活する児童生徒
- 【教師像】
 - ・児童生徒の気持ちに寄り添い，大切にできる教師
 - ・一人一人をしっかりと見つめ，学んで指導する教師
 - ・人間性が豊かで自分の感動を分け与える教師
- 【学校像】
 - ・児童生徒の個性を伸ばし，心を育む学校
 - ・専門性を磨き，発達に根ざした教育を展開する学校
 - ・地域とのかかわりを大切にし，信頼のある学校

2 学校経営方針

- 教育公務員としての確固たる使命感と信念を持ち，新たな時代に相応しい特別支援教育の創造と発展に努め，児童生徒一人一人の夢や願いがかなう学校運営に当たる。
- 一人一人の病気や障害の状態，心身の発達に応じた適切な教育に努め，これからの時代を豊かに生きる人間を育成する。

3 本年度の努力目標

(1) 心やさしく健全な児童生徒を育てる

- 日頃から児童生徒に寄り添う態度で接しながら不安や心配などを把握して，温かい人間関係の醸成に努める。【学級・学年・学部】
- 毎月の生活目標を通して意図的な指導を行い，望ましい生活態度（あいさつや返事）を育てる。【学級・学年・学部，生徒指導部】

(2) 一人一人の実態に応じた学習指導の充実

- 創意と工夫に満ちた授業実践を行い，個の可能性を最大限に引き出す教育に努める。【学習指導部，学級・学年・学部，全職員】
- 児童生徒の実態に応じて，ICTやAT教材を活用した学習を工夫し，効果的な学習活動に努める。【情報教育部，全ての教育活動】

(3) 教職員一人一人の指導力と専門性の向上

- 指導力と専門性の向上を図るため、必ず授業公開や研究発表等をとおした形成的評価を行いながら、授業改善や研究検証をする。 【研究部，全職員】

(4) 地域や社会とつながる開かれた学校づくり

- 学校間交流や地域資源の活用，居住地校学習を着実に行って，信頼される学校づくりに努める。 【支援部，各学部】
- 宮城県立こども病院，宮城県拓桃医療療育センターをはじめとする関係諸機関（警察，児童相談所，教育委員会など）と連携し，配慮を要する児童生徒のケースを的確に把握する。 【支援部，生徒指導部，各学部】
- 学校ホームページや学校だより等による本校の教育活動の情報発信，学級懇談や学級だより・連絡帳による児童生徒の状況報告を着実にを行い，説明責任を果たす。 【情報教育部，教務部，各学部・学級】

(5) 県内唯一の肢・病併置特別支援学校としてのセンター的機能の推進

- 肢・病併置を踏まえた教育相談マニュアルになるよう見直しを行う。 【支援部】
- 県内の肢体不自由教育・病虚弱教育の充実のため，幼稚園・保育園，小中学校，高等学校及び保護者に対する支援（相談，研修，情報提供）及び理解啓発を積極的に進める。 【支援部】

(6) 安全安心な学校づくり

- 実践に即した避難訓練や防災教育を行い，防災意識を養う。 【保健安全部，生徒指導部，各学級・学部】
- 施設設備の点検と整備や危機管理の理解を深めるための研修を行い，安全安心して生活できる教育環境を作る。 【保健安全部，生徒指導部，全学部】